お花見ツアー」レポー

今年 河 も台湾 の苗木千本を寄贈 E

本誌編集部

「無事に検疫



南投県鹿谷郷竹林村の記念碑

センチュウ(線虫)などの病害虫が付 いていないかどうかをチェックするた 今年も無事検疫を通過 台湾に絶対に持ち込んではいけな 台湾へ送る植物は全て植物検疫と 台湾側へ検疫通過の旨を知らせたのは 撫で下ろしました。喜び勇んで、すぐ クラサク」、小躍りしつつ安堵の胸を 終了」の連絡が入った時はまさに「サ 月二日午後十二時半、

十名が参加しました。

事務局員、

桜募金篤志者、

会員など三

松澤寛文の各理事や冨澤賢公本部

言うまでもありません。

たが、 うため、 田天光光理事長が風邪による急な発熱 ました。 で、今年も千本の苗木を寄贈して参り から十一日の三泊四日。 で入院との報に接しいささか慌てまし 今回の日程は、 安静との再報に接し、 出発前日の夕方、育桜会の 昨年より一日延ばし二月八日 植樹式を二ヵ所で行 参加者五十名 現地で発

松前孝廣副理事長、出川達郎常務理事まつまであたからろうであったのであったのであります。 理事の他、 など十八名、本会からは柚原正敬常務 と銘打ったこともあり、育桜会からは 今回は 一桜植樹式とお花見ツアー 片木裕一、薛格芳、 入江修

して昨年同様、 作家として著名な平野久美子さん、 を出版したばかりのノンフィクション 本語世代を取り上げた『トオサンの桜 散りゆく台湾の中の日本』(小学館 また、一月末に台湾の桜守などの 河津桜の苗木をご提供 そ Н

にて仮植え地である南投県の名間に向 二台に分乗し、台湾側約三十名もバ の方々が待ち受けていてくださいまし は黄崑虎総会長をはじめ李登輝之友会 二月八日の夜八時、 翌九日、 日本側五十名が大型バス 台中のホテルで ス

小山徹氏も参加しました。

ただいている財日本花の会技術員の

第一 の植樹地は南投県鹿谷郷

症されたらさらに大事と頭を切り替え

程や人員の手配などを台湾側と打ち合

わせていました。

に受験生と同じドキドキものです。

検疫の結果発表を待つ心境は、

まさ そ 日

のため、

万が一の場合を想定して、

待ちにしている台湾側に大変な迷惑を

予定されていますので、

準備万端で心

かけることになります。

ません。もしここで不合格になると、

いう厳重な関門を通過しなければなり

国や県のお偉いさんも参列する式典が

て翌日から訪台した次第でした。

贈呈式で挨拶する李朝卿・南投県知事 (2月9日)



記念碑を囲んで(2月9日)



苗木を植える黄崑虎総会長(2月9日)



会長 した。 が 前を見つけて皆さん 篤志者の名前が刻んであり、 会と日本李登輝友の会とともに桜募金 台湾島を象った立派な記念碑には育桜 半々に植えるようになっていました。 オケも用意してあり、 食を振る舞っていただきました。 や陳水扁総統も訪れるという黄崑虎総 銅像を参拝。 を船で見学し、 その後、 植 0 懸命に踊る姿に心 樹 式典の中に子供 四合院造りの立 地 台南 引き続き、 台湾 に向 田 0) 與一 か 0) 桜 歌とともに暖か 打 顔もほころびま 派なお屋敷で夕 たちの踊りも ٤ 技師 李登輝前 たれまし 日 烏山 本 自分の 0 お 頭 0) カラ 総統 7墓と 桜 ダ

明

 \hat{o}

南投県鹿谷郷

竹林村では、 移植地

南投県 紫水 ンを結んであ けたものがあ

が印象的でし 田理事長名の

その後、

第

である山

た赤いリボンを結び付けました。 加者や桜募金の篤志者の名前が書

背丈ほどの苗木の中に二輪の花を

0

ŋ つ たの 0)

袁

リボ

0

苗木に、 ました。

参加者全員で日本からの

か

n

ここでは移植

してある千

本

0

,朝卿知事や陳朝旺農業局長

0

林光演郷長、

竹林村の

林信記村長

が行われました。

の中心地近くを切り

開

いたところ

らとともに小学生など五十名ほどが出

盛大な植樹式と記念碑の除幕式

台 南 0 夜は 更けていきました。

植樹地は台南の科学工業園

われました。 部科学工業園区」(台南サイエ でも植樹式と記念碑除幕式典 Ħ は、 台 南県善化鎮にある ン ンス が 南

風が吹き抜けて 中だそうで、 線の車窓から見下ろせる絶好 五. ここは開通したばかりの台湾版 式典には、 台南サ)坪も Ź の土地が用意してあり 周 台湾側から行政院国家科 エンスパ りになにもなく、 ました。 1 クはまだ整備 0 地 ま し 強

学委員会の戴謙副主任委員 (副大臣に

歓迎の踊りを披露する竹林村の子供たち (2月9日)

特設テントで挨拶する蘇煥智 · 台南県知事 (2月10日)

相当) 協会高雄事務所の神戸浩道所長なども 参列し、 錚々たる方々が参列。また、 て奇美実業創始者の許文龍氏といった 学工業園区管理 で行われました。 や台南県の蘇煥智知事、 桜をモチー 局 の陳俊偉局長、 フにした特設テン 日本交流 南部科 そし

方も少なくありませんでした。 場は曲に合わせての大合唱となり、 て歓迎していただいたことでした。 の歌」「望春譜」など七、八曲を披露し ンを奏でて「さくら」「春が来た」「浜辺 奏者や歌い手を率い、 かされたのは、 く日本の歌に目頭を熱くされた 許文龍氏がギ 自らもマンドリ ター 会

を弾く許文龍氏 2月10日) マンドリン (右から2番目



過ごしました。 に乗車し、 だった台湾版新幹線 板橋駅まで快適なひと時を (台湾高速鉄路

昼食後、

台南駅からお楽しみの一

新竹の花見は次回のお楽しみ

夫妻、 主席 の池田維代表 長ご夫妻、 之友会主催による歓迎晩餐会が開 夜は台北市内の国賓大飯店で李登輝 台北市李登輝之友会の蔡焜燦会長 会場には日本交流協会台北事務所 台日文化経済協会の黄天麟副会 自由時報の呉阿明董事長など、 亜東関係協会の羅福全会長ご 台湾独立建国聯盟 (駐台大使に相当) の黄昭

こそしっかり花見をしたいものです。

来年もこの桜交流は続きます。



国賓大飯店の歓迎晩餐会(2月10日)

食歓迎会となりました。 震天会長自ら司会をつとめる盛大な昼 なども出席し、 した。式典には林政則市長や国会議員 河津桜の苗木も遠望することができま た桜が今年も立派に花を咲かせ、 はできませんでしたが、 では時間の都合などで残念ながら花見 植えられた新竹市へ向いました。 餐会となりました。 関係者約百五十名が出席する盛大な晩 月末、新たに移植された三百十株 最終日の十一日は、 新竹李登輝之友会の 最初に河津桜が 最初に贈ら 今年 n